

数の特性を使ってオリジナルの「役」作るポーカー

“ミーデン・ポーカー”

プレイ人数

● 2～5人程度

使用するカード

● 0～9の数字カード ● 特殊カード (計48枚)

※ブランクカードは使用しません

遊び方

● 以下の基本的な遊び方はトランプのポーカーと同じです。

基本的な遊び方

- ①カードをよく切って、裏向きに一人5枚になるように配ります
- ②残りのカードは重ねて裏向きにして中央に置きます(台札)
- ③ジャンケンなどで順番を決め1番から順に進めていきます
- ④5枚の中からいらぬトランプを場に捨てて台札から捨てた枚数をとりま
- ⑤次の人に回します5枚全部捨てて台札から5枚取ることも可能です
- ⑥これを人数分繰り返します。何周かすると狙った「役」が完成します
- ⑦役が揃った場合はストップをかけ、自分のカードを全て表向きにします
- ⑧その自分の番から更に一周したら勝負となります(ストップをかけた人はそれで勝負)
- ⑨プレイヤーが全員「役」を公開し、一番強い役の人の勝ちとなります

● トランプと異なるのは、「役」。♣♠♦♥などのマークがない「ミーデン・ポーカー」は、数の特性で「役」を作ります。フルハウス、フォーカードなど、通常のポーカーと同じ役もありますが、数の特性をいかした「奇数ストレート」「素数ストレート」などの役の方がランクが高いのが特徴です。

①ワン・ペア

5枚のカードの内、同じカードが2枚存在する

例：4・4・6・8・2

②ツウ・ペア

5枚のカードの内同じカードの組が2つある

例：6・6・9・9・3

③スリー・カード

5枚のカードの内同じカードが3枚ある

例：3・3・3・5・7

④フルハウス

5枚のカードの内3枚・2枚で同じカード

例：4・4・4・素・素

⑤フォーカード

5枚のカードの内4枚が同じカード

例：7・7・7・7・10

⑥ロイヤル奇数ストレート

5枚の奇数の数字カードが順番に並んでいる

1・3・5・7・9

※足りない数字を特殊カード奇数で埋めた場合はロイヤル抜きの「奇数ストレート」

例：1・3・奇・奇・9

⑦ロイヤル偶数ストレート

5枚の偶数の数字カードが順番に並んでいる

0・2・4・6・8

※足りない数字を特殊カード偶数で埋めた場合はロイヤル抜きの「偶数ストレート」

例：0・偶・4・偶・9

⑧ロイヤル素数ストレート

4枚の素数の数字カードと素数カードの組み合わせ

2・3・5・7・素

※足りない数字を特殊カード素数で埋めた場合はロイヤル抜きの「素数ストレート」

例：2・素・5・7・素

⑨完全数・ザ・パーフェクト

「6」「28」「496」「8128」などの「完全数」で作り上げた組み合わせ。

以下の5パターン

6・6・6・2・8 = 完全数「6」が3つと完全数「28」

6・6・4・9・6 = 完全数「6」が2つと完全数「496」

6・8・1・2・8 = 完全数「6」と完全数「8128」

6・2・8・2・8 = 完全数「6」と完全数「28」が2組

2・8・4・9・6 = 完全数「28」と完全数「496」

⑩ハッピーバースディ

プレイヤー自身の誕生日+オイラーカードで作る究極の役

例：3月5日生まれのプレイヤーのハッピーバースディ

0・3・0・5・オ

例：11月25日生まれのプレイヤーのハッピーバースディ

1・1・2・5・オ

【完全数とは】

6の約数(6を割り切れる数字)は1と2と3。6の約数を全て足すと、1+2+3=6で、その数字そのものになります。

こういった、約数を全て足すと、その数字そのものになる数を「完全数」と呼びます。

6の次は28、そしてその次は496、その次は8128です。

8128までの数字の中で、この4つしかありません。

8128の次に完全数が登場するのはなんと、33550336!

とても珍しい、特別な数字であることがわかりますね。

【役の強さランキング】

